

各企業の社会貢献

車いす3台を寄贈

宮坂建設工業が帯広市に
福祉の充実に役立てて

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は五月三十日、地域貢献の一環として、帯広市に車いす3台を寄贈した。宮坂社長が一市の福祉の充実に役立てるため、今後も寄贈を継続していくと呼びかけ、米沢則寿市長に目録を手渡した。写真



同社は会社や各現場で発生する廃品について、回収業者との間でリサイクルポイントを取り決める制度を活用。ポイントで車いすを購入し、帯広市のほか、支店のある札幌市と釧路市の三つの自治体に車いすを寄贈しており、こととして五年目となる。

ことしは四月二十六日に札幌市に、翌四月二十七日に釧路市に寄贈しており、この日の帯広市分も含める

真。

と五年間で累計四十五台を寄贈した。今回寄贈した車いす三台は児童会館で二台、百年記念館で一使用することを予定している。

この日、市役所を訪問した宮坂社長は「我々はインフラを整備しており、エンドユーザーである地域住民の皆さんのために自然体でボランティアを行って

る。市の福祉の充実に役立てるため、今後も寄贈を継続していく」と呼びかけ、米沢市長に目録を手渡しした。

これに対して米沢市長は「車いすは生活に必要なもので大変ありがたい。自治体の運営は住民の皆さんの協力の上で成り立って

いるということを改めて実感した」と感謝の意を表わし、宮坂社長に感謝状を贈呈した。

北海道建設新聞

2012年(平成24年)6月1日(金曜日)

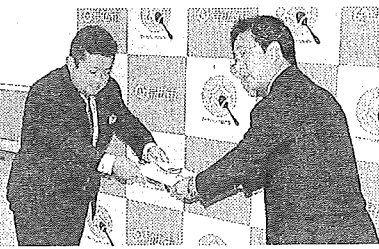
車いす3台
帯広市に寄贈

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は5月30日、地域貢献活動の一環として、帯広市に車いす3台を寄贈した。

同社は5年前から、廃品回収のリサイクルポイントで車いすと交換し、本社と支店を置く帯広、札幌、釧路の3市に贈呈。ことしは、札幌に4月26日、釧路に同27日にそれぞれ贈った。

この日、宮坂寿文社長らが帯広市役所を訪問し、米沢則寿市長に目録を手渡した。写真。その後、米沢市長から感謝状を受け取った。



宮坂社長は「永続的に活動したい」と話し、米沢市長は「車いすは消耗品で、ニーズが落ちるものでもないので大変ありがたい」と感謝していた。

市は2台を児童会館、1台を帯広百年記念館で運用する予定だ。